

令和5年11月県議会定例会の結果について

教育政策課

1 日時

11月30日(木)～12月15日(金) 16日間

一般質問 12月5日(火)～8日(金) 4日間

委員会 12月11日(月)、12日(火) 2日間

2 教育委員会関係の議案等

(1) 令和5年度長野県一般会計補正予算(第4号)案

- | | | |
|----------------|-------------|---------|
| ・寿台養護学校施設整備事業費 | 116,003千円 | 原案どおり可決 |
| ・給料、職員手当等 | 2,065,620千円 | 原案どおり可決 |

(2) 条例案

- ・長野県学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 原案どおり可決

(3) 令和5年度長野県一般会計補正予算(第5号)案

- | | | |
|-------------------|-----------|---------|
| ・特別支援学校トイレ環境整備事業 | 32,285千円 | 原案どおり可決 |
| ・県立高等学校DX加速化推進事業費 | 200,000千円 | 原案どおり可決 |
| ・文化財の保存活用事業補助 | 3,441千円 | 原案どおり可決 |

(4) 総務企画警察委員会からの意見聴取

- ・知事の事務部局の組織に関する条例の一部を改正する条例案
原案のとおり可決すべきものと決するに異存ない旨、総務企画警察委員長あて回答

3 一般質問の概要

一般質問を行った28人の議員のうち8人の議員から教育委員会関係について質問があった。

(1) 主な質問項目

- ・不登校生徒等の高校進学について
- ・特別支援学級の教員配置について
- ・上田養護学校の移転を含む改築の検討について
- ・特別支援学校の図書館の状況や整備について
- ・医療的ケア児や学校看護師の状況と県教育委員会による支援について
- ・児童虐待に対する学校の役割について
- ・中学校部活動の地域クラブ活動への移行の進捗状況について
- ・今年度の特別国体における現状分析とこれまでの事業の評価について
- ・包括的性教育の推進について

(2) 主な議論の内容

不登校や不登校傾向等の児童生徒の高校進学に係る質問に対し、不登校生向けの高校進学に係る説明会の開催状況や、中学校の進路指導とも連携を図りつつ不登校生徒児童に寄り添ったきめ細かい進路指導ができるよう支援していること、県立高校入学者選抜において、「不登校であることのみで不合格になることはない」としており、不登校であるか否かに関わらず、評定のつかない教科がある生徒については、学力検査の点数及び調査書の記載事項等により、他の受検生と同様、個別に検討していること、また、中学校教職員・生徒・保護者に改めて周知するために、本年7月に通知したところであり、引き続き周知に努めていくと答弁。

部活動の地域クラブ活動への移行の進捗状況についての質問に対し、令和4年12月に国が策定した地域クラブ活動への移行等に関するガイドラインを受け、「長野県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会」を立ち上げ、地域クラブ活動の在り方や環境整備の進め方などについて協議していることや、今年度までに10地区16市町村が国の実証事業を活用しながら試行的に地域クラブの移行に取り組んでおり、その成果や課題等について共有し検討していること、引き続き地域クラブ活動への移行が円滑に進むよう市町村を支援していくと答弁。

上田養護学校の移転改築の検討についての質問に対し、当該校は教室不足などの狭隘化や施設の老朽化に加え、校地が千曲川の浸水想定区域内に立地しており、校地環境の安全性の観点から、施設の移転も含めた対応が必要であると認識しており、できるだけ早急に検討に着手すると答弁。

4 文教委員会における質疑の概要及び請願・陳情の審査について

(1) 主な質疑項目

- ・ これからの長野県教育の目指す姿について
- ・ 教員の働き方改革について
- ・ 教員の非違行為について
- ・ 不登校等に係る調査結果について
- ・ 夜間中学と学びの多様化学校について
- ・ 発達障がいに関する実態調査について
- ・ 寿台養護学校施設整備事業について
- ・ 特別支援学校のトイレの整備について
- ・ 再編新校に係る施設整備の方針等について
- ・ 学力向上に係る取組について
- ・ 長野県におけるAI活用人材の育成状況について
- ・ 通学路の安全確保について
- ・ 子どもの視力について
- ・ 長野県教育委員会が派遣している教職員の派遣先や長野県教育への還元方法について
- ・ 2028年国民スポーツ大会に向けての選手強化について

(2) 主な議論の内容

教育委員会から、策定初年度の長野県教育振興基本計画に掲げた主な施策の取組状況について説明し、委員からは、様々な教育課題がある中、計画の目指す姿である「個人と社会のウェルビーイングの実現」に向けて取り組んでいることを評価する意見が出された。

また、不登校や発達障がいのある児童生徒への適切な支援についての引き続きの取組と、高校再編については、今後さらに進む少子化も見据えた新たな高校づくりを、生徒や地域の方々等ともよく話し合いながら丁寧に進めるよう求める意見が出された。

このほか、特別支援学校における学習環境の改善や、県立高校の授業におけるデジタルの活用、教職員の非違行為の根絶と信州教育の信頼回復に向けた更なる取組などについて意見が出された。

(3) 請願・陳情の状況

請願 0件（うち新規 0件） 採択0件

陳情 37件（うち新規 28件） 採択7件、継続審査30件